

社会福祉法人 權

令和2年度事業報告

添付：資料

法人本部

【総括】

新型コロナウイルスに大きな影響を受け始めた年度となりました。

行政や、周辺関連事業所等からの情報収集を行い、適切な感染予防対策を検討し、換気、加湿、飛沫防止シート設置等実践しました。通勤時の感染予防として職員の出勤時間の変更もおこないました。

社会状況やウィルス対策の情報更新（対応すべき体温 37.5 度→37 度、フェイスシールドの有効性、行政の「宣言」「措置」の発出や終了）に対応し続けました。

理事会や、その他の対外会議でもリモート参加が多くありました。

また、職員体制の弱さや中長期計画の未達成事由(特にグループホーム事業に関して)の検討を行いました。要因が、事業規模の小ささに伴う、運営力、実行力の乏しさにあるため、適正な規模拡大を検討していく。

1. Navi o けやき（継続支援 B 型）の事業の発展に向けた取り組み

新型コロナ感染対策として、所内の密を軽減するため、午前午後の二部制での通所利用をお願いしています。そのため、新規利用者の見学希望を受け付けるまでに検討の時間を要しました。年度後半には見学希望者の試験通所を始めることができました。

2. 相談支援事業（相談室なびお）

運営規程を再度改定し、週 4 日の営業日を 5 日に変更することで業務がより円滑に進められるようになりました。

相談員の資質向上のための研修を実施しました。

障害者の退院促進、地域移行支援の実績が増えています。

3. 人材育成および評価

キャリアパスに基づいた評価、育成を面談により行いました。今年度より、評価を給与（昇給）に反映（昇給幅の差異）させています。

4. 広報活動

(1) 権めーるの発行：

第45号 R2年6月発行：新型コロナ感染予防・第3回けやきの音楽会・畑しごと始めました

第46号 R2年12月発行：新型コロナ続報・防犯訓練・アート展、スポーツプログラムの再開・自主製品作り

第47号 R3年3月発行：第三者評価受審結果・PCR検査受検・就職者のコメント・新人職員

(2) ホームページ：適時、更新をしました。

5. 研修参加 利用者の権利擁護等、運営向上に向けて研修を行いました。

「SST（社会生活技能訓練）研修」8月13日 於：所内 法人職員全員参加

「事例検討研修」8月24日 於：所内 法人職員全員参加

「障害福祉サービス事業所職員研修（災害対策）」11月26日 鈴木参加

「虐待防止研修」3月9日 於：所内 法人職員全員参加

「職場のハラスメント対策講座」3月16日 於：所内（ZOOM ウェビナーライブ）

：松木参加

6. 中長期計画への取り組み

【総括】に記したとおり、事業規模の適正化を念頭に、地域同種事業者との連携を提案しています。（継続中）

7. 音楽会事業の開催

今年度は準備までに至りませんでした。

8. 「法人理念」の浸透

所内に掲示し、Navio けやきパンフレット、ホームページにも掲載しました。

理念に基づいた計画や評価については未達成です。

9. 地域連携

世田谷エリア自立支援協議会 運営委員会 10回 例会 1回（リモート）鈴木参加

世田谷区社会福祉法人地域公益活動協議会（書面開催）不参加

以上

Navio けやき／就労継続支援 B 型事業

【総括】

新型コロナウイルス感染症対応に追われた一年となりましたが、利用者・職員ともに感染を出さずに終えることができました。就労支援では3名の就職者を送り出すことができ、当該利用者だけでなく事業所全体の雰囲気にも影響を与えたようです。一方で登録者が減り、新規登録者を増やすことが次年度に向けての課題となりました。新型コロナウイルス感染症対策として二部制開所がしばらく続くことと予想されます。多くの利用者にとっては半日通所のペースが馴染んでいる様子ですが、体力的に半日では物足りない利用者や就労を考える利用者に対しどういったサービスを提供できるかも次年度の課題です。

令和2年度は3年に一度実施されている福祉サービス第三者評価を受審しました。概ね高評価をいただきましたが、

- ・事故報告書を未然防止に役立てる為、発生原因を分析記載、「ヒヤリハット」は項目を明確にして集計分析する。
- ・働きたい、工賃を得たいというモチベーションを維持する為、仕事の確保と工賃アップに取り組む。
- ・社会生活のマナーを学ぶ機会をつくり、利用者間のトラブルを減らしていく。といった改善点が指摘されました。

今回はコロナ禍の影響で通常面談で行われる利用者調査をアンケート形式で、評価結果報告もオンラインで行われました。指摘された点は次年度の計画に盛り込み、より良いサービスを提供できるよう取り組んでいきます。

1. 新型コロナウイルス感染症対策

緊急事態宣言発令中の対応として令和2年4月13日から5月6日まで事業所を閉所し、利用者には在宅支援を行いました。5月は週3日の部分開所を実施し、6月より人数上限を設け開所しました。年度末まで利用者には半日利用をお願いし、午前と午後それぞれ13人を上限とした二部制開所の形を継続しています。利用者に安全に通所してもらうため取り組んだ新型コロナ対応は以下のものになります。

- ・1日2回（昼と夕方）の所内消毒の実施
-

-
- ・「コロナのしおり」を配布し、手洗い、マスク、外食等の注意喚起
 - ・家と通所時の検温を実施し体調チェック表で管理、通所や出勤の基準は37.0度に設定
 - ・コロナ勉強会（動画視聴、手洗いチェッカーを用いた体験学習）の実施と情報提供
 - ・職員の定期的なPCR検査（2月より）

この1年は制限を設けた開所となり、予定していた活動の多くが実施できない状況でしたが、利用者は概ね理解し協力の姿勢を示してくれました。第三者評価の調査結果からも、利用者が事業所の新型コロナウイルス感染症対策に安心感を得ていたことが確認できました。

2. 受託事業の作業安定化と工賃向上について

4月13日から5月末までの閉所および限定開所期間中は請負先と相談調整し、ほとんどの作業を休止しました。公園清掃は回数を減らして実施しました。

閉所中の工賃未発生への補償として5月に特別工賃を支給しました。特別工賃は繰越金を充て、令和2年1月～3月の平均工賃額を支給しました。

6月以降は作業再開しました。請負量は昨年度と比較して微減傾向にありましたが、利用人数・時間を制限しているため利用者に提供する作業量が不足することはありませんでした。反対に、納期に間に合わせるために職員が作業に入る時間が増えました。

令和2年度の工賃総額は4,040,960円、平均工賃は11,546円でした。目標工賃12,500円には届きませんでした。

3. 提供サービスの質の充実

閉所期間中は了解の得られた利用者に対し在宅支援（生活状況や健康状態の聞き取りと相談支援、家での取り組み課題の設定と確認等）を実施しました。急な対応で万全ではない点もありましたが、利用者に口頭あるいは紙面で説明を行いました。

支援計画に基づき6ヶ月ごとのモニタリング面談を担当職員が行いました。閉所期間中など対面面談が難しい場合は電話によるモニタリング面談を実施しました。

今年度の目標にしていた就労プログラム開始に向け、7月に就労アンケートを行い利用者の希望を把握し準備を進めました。2名のスタッフで就労プログラムを担当し、9

月から2月の間に所内で計5回開催しました。就労が支援課題に上がっている利用者だけでなく、就労に関心を持っている利用者も参加しました。

個別の就労支援では3名の利用者が就労を決め利用終了となりました。うち2名は定着支援事業にて引き続き支援を行なっています。1名は区内就労支援センターに支援を引き継ぎました。

新型コロナ感染防止のため、ほとんどのプログラムや行事は開催できませんでした。感染状況の落ち着いている時期にクラブ活動（アート、スポーツ）を実施しました。アートで制作した作品は11月に開催された世田谷区障害者施設アート展に出展しました。スポーツは東京都精神障害者スポーツ交流祭に参加予定でしたが、1月の緊急事態宣言発令に伴い大会が中止となりました。利用者全体ミーティングは近隣施設を借りて11月と3月に実施しました。ミーティングで日帰り旅行の検討をしましたが、この計画も1月の緊急事態宣言により中止となりました。

4. 職員の知識や技術向上を目指す

年度前半は多くの研修やネットワーク会議が中止となりました。夏に所内研修を企画し、外部講師を招いて2種類の研修を行いました。年度半ばになるとオンラインで開催される外部研修等に参加できる環境が整っていきま

した。虐待防止のためのセルフチェックを月初に行い、3月にはセルフチェックを振り返り意見を出し合う法人研修を開催しました。

キャリアパス制度を導入した職員育成がスタートしました。5月、10月、3月に育成面談を実施しました。

5. 利用者状況

令和2年度は登録者35名（男性25名、女性10名）で開始、1名の新規登録と8名の利用終了（うち2名は事務手続き上3年4月の退所にカウント）があり、年度末の登録者は28名となりました。利用終了者のうち3名は就労、3名は病状の悪化で通所が困難となり退所しています。

ひと月の平均利用者数は 19.6 人でした。目標としていた 21 人には届きませんでした。全体的に通所状況が安定していたため利用者数の大幅な落ち込みには至りませんでした。通所状況の安定傾向については、半日通所になったことが負担や疲労の軽減につながり、結果的に休まず通所する利用者が多かったのではないかと考えます。また人数制限により所内にいる人が少ないことも影響しているかもしれません。

就労定着支援事業

登録者 5 名でスタートし、2 名が支援期限を迎えたため 3 月末時点での登録者は 3 名です。月 1 回の職場訪問と面談を基本に支援を提供していますが、緊急事態宣言の発令された 4 月～5 月と 1 月は職場訪問を控え、電話や来所による面談を行いました。4 月～5 月はスーパーに勤務する 1 名を除き 4 名が在宅勤務となりました。在宅勤務が長引く中で不調を訴える利用者もおり、会社側と勤務日の調整をする支援を行いました。3 年の支援期限を迎えた利用者のうち 1 名は有期雇用の期限も控えていたため、再就職の支援を行いました。

OB 会は開催できませんでした。

相談室なびお

【総括】

今年度は登録者 56 人で事業を開始しました。コロナ禍の影響から前期の新規利用者は少なかった。後期は徐々に新規利用者が増えました。

年度末には就労のため利用を終了する方がありましたが、新規利用者も増え、登録者 60 名の目標に近づいています。（年度末登録者 56 名）

新型コロナウイルスへの感染リスクに過敏に反応している利用者があり、彼らへの精神的な支援を行うことが今年度の特徴的な事柄となっています。

相談支援事業単独での収益性の低さについては意見が交わされています。相談支援サービスについては、需要に対して供給（相談支援事業所数）が不足している状況から、法人の社会的責任を果たす上で有意義と言えます。

1. 相談室開所日の変更

令和 2 年度に開所日を週 4 日から 5 日に戻しました。事業収益を考慮しての週 4 日の設定でしたが、効率化を試みたものの、特に月末等に文書作成等事務処理に時間が不足していました。

2. 相談支援専門員研修

「災害時のご利用者様の支援と関係機関との連携のあり方について」

主催：東京リハビリテーションセンター世田谷

3. 関係機関との連携強化と新しい社会資源の発掘

「8050 問題」は社会的課題として認知されています。高齢者（80）へのアプローチは主として「あんしんすこやかセンター」が担うので、「あんすこ」と連携して対象者（50）への相談支援を行いました。ただし、「あんすこ」ともつながっていないケースでは支援が困難でした。

「あんすこ」以外でも成年後見制度を運営する「社会福祉協議会」、地域の「民生委員」といった公的な社会資源と連携しました。

世田谷区の「障害者配食サービス」や「清掃事務所」の訪問収集サービスなども副次的に“見守り／安否確認”を行っており、連携の可能性のある社会資源として認識しています。

令和2年度 法人本部事業

令和2年

4月10日	『中会』	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス対応に伴う自粛期間中の勤務状況について ・理事会議案整理 	鈴木、脇、秋山、松木
5月15日	令和2年度 事業、会計監査		波多野、大森、秋山、松木
5月19日	第1回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業・決算報告、監査報告 ・経理規程改定 	波多野、大森、鈴木、松木
5月27日	第2回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・Navio けやき運営規程改定 	齋藤、脇、松木、鈴木
6月16日	第1回評議員会(決議の省略)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業報告書、計算書類及び財産目録の承認 	
6月22日	世田谷エリア自立支援協議会		鈴木
6月23日	法人変更登記(財産)		松木
7月20日	世田谷エリア自立支援協議会		鈴木
7月21日	『中会』	<ul style="list-style-type: none"> ・Navio けやき第三者評価受審対応について ・法人社会貢献に対して ・BCP作成について ・理事会議案整理 ・Navio けやき運営状況について 	鈴木、脇、秋山、松木
9月7日	世田谷エリア自立支援協議会		鈴木
9月15日	第3回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員候補者の選任 	齋藤、脇、松木、鈴木、大森、秋山
9月30日	世田谷エリア自立支援協議会		鈴木
10月15日	評議員選任・解任委員会		飯田、秋山、波多野、松木
10月30日	世田谷エリア自立支援協議会		鈴木
11月4日	『中会』	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者退職願への対応 	鈴木、脇、松木
11月17日	第4回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度職員体制について 	齋藤、前田、脇、松木、鈴木、波多野
11月24日	世田谷エリア自立支援協議会		鈴木

12月2日	『中会』	<ul style="list-style-type: none"> ・3月からのスケジュール確認 ・令和3年度の管理者・サービス管理責任者体制について ・令和3年度の職員体制について ・今後の職務分担の整理について 	鈴木、脇、松木
12月15日	第5回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降の経営方針について 	齋藤、阿部、亀田 (リモート)、脇、 松木、鈴木 波多野、大森(リ モート) 秋山
12月21日	世田谷エリア自立支援協議会		鈴木

令和3年

1月25日	世田谷エリア自立支援協議会		鈴木
2月3日	『中会』	<ul style="list-style-type: none"> ・理事、評議員改選 ・第4回理事会議案 ・令和3年度予算検討 ・損害保険「しせつの保険」更新内容確認(感染症対応等) 	鈴木、脇、松木
2月22日	『中会』	<ul style="list-style-type: none"> ・法人運営体制強化策 進捗状況 ・事業計画案、予算案 検討確認 	鈴木、脇、松木
2月24日	世田谷エリア自立支援協議会		鈴木
3月3日	第6回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・新評議員候補者の決定 ・評議員選任・解任委員会召集の決定 ・第2回評議員会開催について ・令和3年度事業計画(案)審議 ・令和3年度資金収支予算(案)審議 ・Navio けやき管理者の任命 	齋藤、前田、亀田 (リモート)、脇、 松木、鈴木 波多野 秋山
3月4日	世田谷エリア自立支援協議会・地域ケア協議会合同企画講演会(ZOOM)	「親子ともに歳を重ねた世帯への“働きかけ”を考える」日本福祉大学 綿祐二氏	鈴木
3月17日	第2回評議員会(決議の省略)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度 事業計画案の承認 ・令和3年度 本部、Navio けやき、相談室なびおの資金収支予算案の承認 	
3月22日	世田谷エリア自立支援協議会		鈴木

1. 利用者の状況・異動の状況

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	21	18	22	21	18	20	22	19	21	18	18	23	241日
利用登録者数(月初)	35	35	34	34	34	34	34	34	35	34	34	34	411人
利用登録者数(月末)	35	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	30	405人
出席者数	426	437	443	423	333	378	397	334	390	348	353	454	4,716人
(うち区民)	413	422	428	408	318	365	381	321	374	335	341	437	4,543人
平均利用者数(月)	20.2	24.2	20.1	20.1	18.5	18.9	18.0	17.6	18.5	19.3	19.6	19.7	19.6人
利用の開始(人数)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1人
利用の終了(人数)	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	6人

2. 職員の状況

職種		就労継続支援B型		職場定着支援	
		職員数		職員数	
		専従	兼務	専従	兼務
管理者	常勤		1		1
サービス管理責任者	常勤		1		1
職業指導員	常勤	1	1		
	非常勤	2			
生活支援員	常勤		1		
	非常勤	1			
就労定着支援員	常勤				1
	非常勤				

3. 職員研修状況

	研修内容	日数	参加人数
7月	障害者虐待防止法の基礎知識	1. 25時間	1
7月	障害者虐待防止法の基礎知識・虐待、不適切行為をなくす取組	1. 25時間	1
8月	障害者虐待防止法の基礎知識・不適切行為、虐待行為をなくす取組	1. 25時間	1
<input checked="" type="checkbox"/>	障害者虐待防止法の基礎知識	1. 25時間	1
<input checked="" type="checkbox"/>	障害者虐待防止法の基礎知識	1. 25時間	1
<input checked="" type="checkbox"/>	SST所内研修	3時間	7
<input checked="" type="checkbox"/>	事例検討所内研修	3時間	7
<input checked="" type="checkbox"/>	災害対策	3時間	1
<input checked="" type="checkbox"/>	個別支援計画と記録	2時間×4日	1
<input checked="" type="checkbox"/>	虐待防止職員研修	1. 25時間	7
<input checked="" type="checkbox"/>	職場のハラスメント対策講座	3時間	1

4. 就労支援の実施状況

(1) 実習その他

		人数	内容
<input checked="" type="checkbox"/>	障害者地域生活課	1	事務補助等 5h×3日

援助付き雇用	(株)エイブス		1	事務所内清掃 1h×週1日
所外訓練	ライオンズクラブ委託作業		4	機関誌封入作業 隔月1回 1～2名参加

(2) 就労状況

就職者 3名

(3) 就労プログラム

	内容	参加人数
9月	・あいさつ (SST)/自己紹介・自己理解	9
11月	・「働く事について」話し合い・働くために必要なこと、準備	5
12月	・病気、障害について説明してみよう・自分の障害と向き合ってみよう	4
1月	仕事探しの条件を考える	6
2月	身だしなみと第一印象の大切さ	7

(4) その他 世田谷区チャレンジ雇用 (11月～) 2名取り組み

5. 生産活動の状況

(1) 生産活動による収入 別表

(2) 工賃支給状況 令和2年度平均工賃 11,546円
令和元年度平均工賃 : 12,247円 令和2年度目標工賃 : 12,500円

6. 年間行事

	□		参加人数
	内容	行先	

7. クラブ活動・勉強会・全体ミーティング

内容	実施場所	回数	参加人数
アート	所内	7	28
7□ □	世田谷美術館 (11月10日～15日)	1	3
スポーツ	大蔵運動場・上馬地区会館	4	31
シエア畑		14	32
コロナ勉強会		2	17
全体ミーティング		2	17

8. 防災訓練 3月30日 避難訓練 利用者14名・職員6名参加

9. 防犯訓練 11月12日 職員7名参加

10. 健康管理 障害者施設健診は中止

11. 職員会議等 別表

**12. 設備・備品
購入**

廃棄 ・Fax (NO.124) (令和2年7月22日廃棄)

13. 建物修理、修繕 無

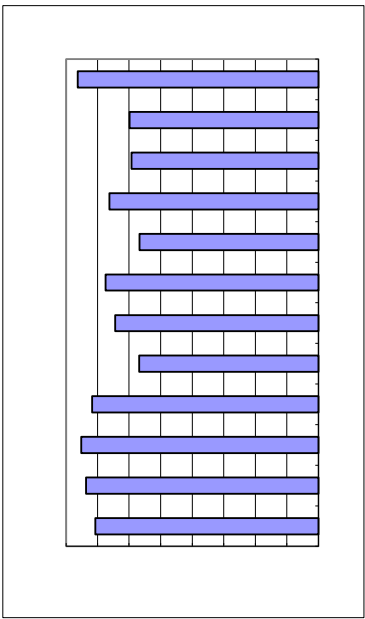
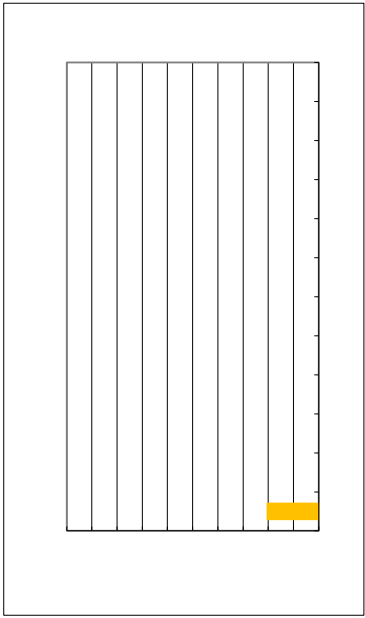
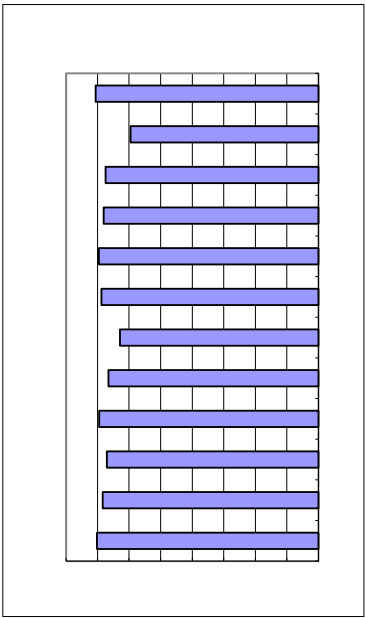
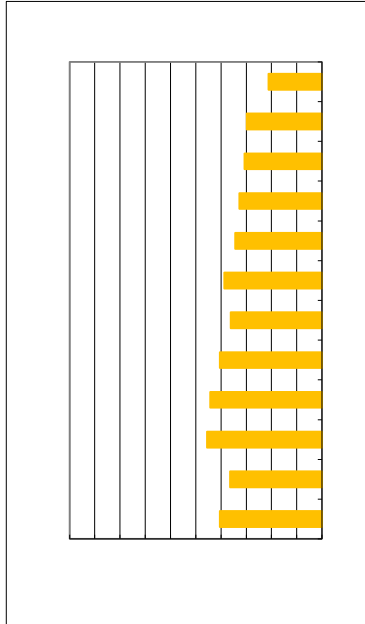
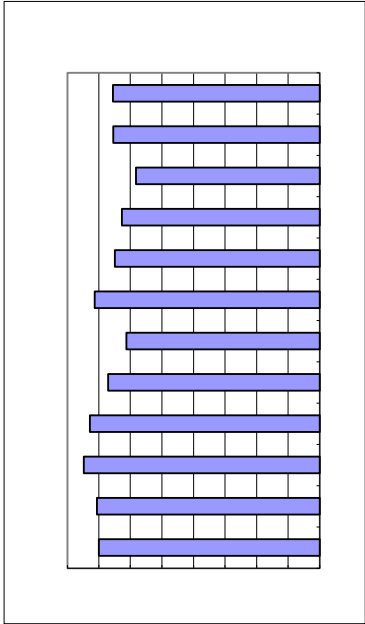
14. 実習生受け入れ 無

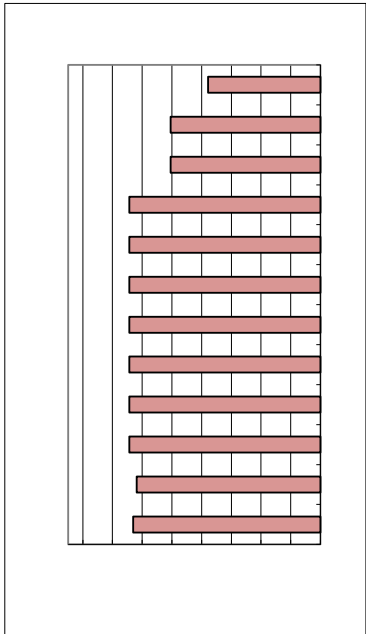
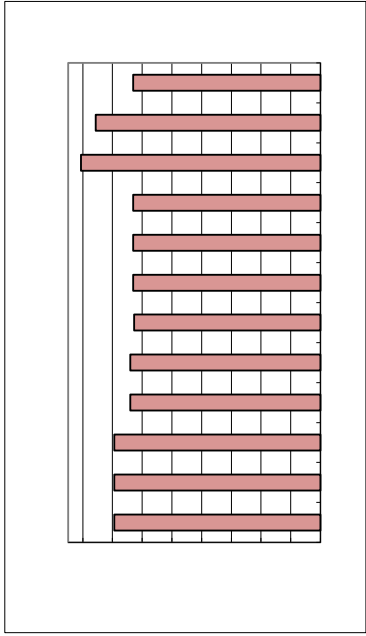
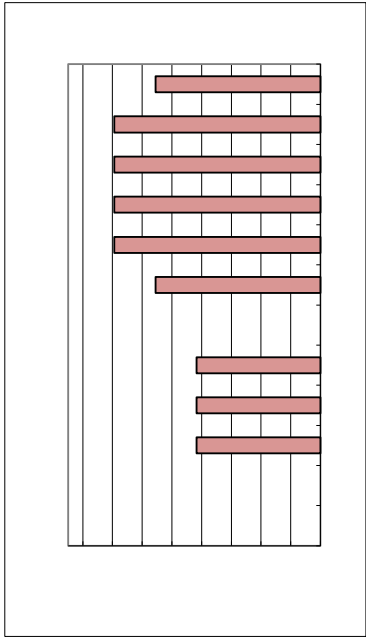
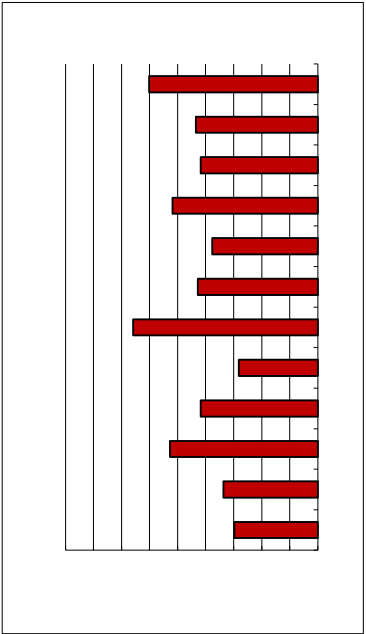
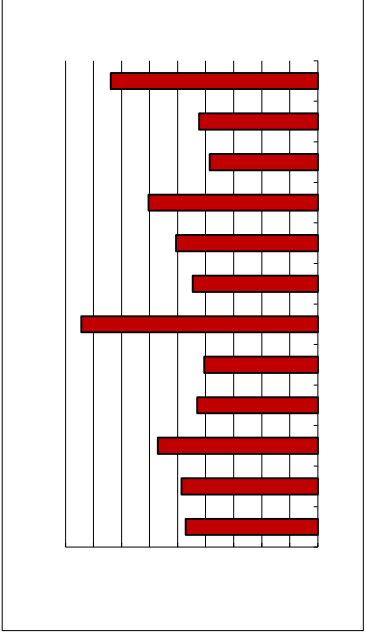
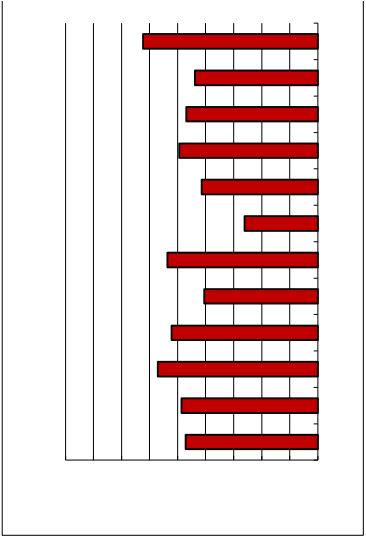
15. 苦情の有無 有り

16. 事故報告 無

17. 広報活動 法人ホームページの構成の大幅の変更に伴って、情報を更新しました。

18. その他 第三者評価受審





元